

オス、マカオ、フィリピン、ソ連（南東地域）、タイ、ベトナム、および近接海域ならびに太平洋地域、蒙古

- 上記の放送が完全受信されるべき範囲  
(50°N, 90°E) (50°N, 180°E)  
(10°N, 180°E) (10°N, 90°E)
- (c) WWW の要求を充す収集時間
  - RMC の担当区内からの収集時間  
H+20分
  - RMC から WMC への伝送  
H+30分 (自己の担当区のみ)  
H+40分 (WMC に直接結ばれていない他の RMC の担当区のみ)
  - RMC からその担当区への配布  
H+15分以内
- (d) このほか通信速度の点についても詳しく規定されているがここには省略する。

以上の決定事項はいつれ WMO の執行委員会、総会において検討に付されることとなろうが、Ⅱ章で述べた RMC に対する条件に照しても、その資格のあるものは

数多くないと思われるのに、このような多数の候補者が現われたことは、各国の熱意は多とするもいささか国家意識過剰の感がないでもない。

本年5～6月に開かれた第17回執行委員会において、来年3月23日の世界気象日の記念テーマを World Weather Watch とすることに定められました。WMO の WWW に対する熱意が伺われますが、今後世界気象界の大きな動きはすべて WWW に指向されるものと思われます。この報告はこのような WWW についての総括的な解説を目的としたものでありますが、筆者の理解力不足のため、その内容を誤り伝えたもの、あるいは重点のおき方に不適當な点が多いかと思ひます。お気づきの点について御指摘をいただければ幸いです。なお本報告をまとめるにあたり気象庁予報部の今里部長、笹内技官はじめ業務課の方々、金子技官はじめ総務部企画課の方々、および観測部の吉武部長、有住高層課長に種々御指導をいただき、また高層課の諸兄には原稿の整理につき色々お手伝いをいただきました。記して深甚な謝意を表する次第です。

## 理 事 会 便 り

### 第20回 (13期) 常任理事会議事録

日 時：昭和41年1月12日 (水) 1500～1800

場 所：東京管区気象台会議室

出席者：畠山、北岡、神山、吉野、小平、岸保、桜庭、今井、大田、増田、安藤各理事 (順序不同)

議 決

1. 外国会員の会費を集誌会員を年間800ドル、天気と集誌との会員を16.00ドルとすることとしこれに伴い、英文の案内状を訂定することを承認する。なお改定の案内状と欧文の出版物の目録残部数などをまとめて、気象集誌に掲載する。

2. 本年度の評議員会を1月20日 (木) に開催することとし議題は全国理事会に報告したものとする。
3. 第14期の気象学会役員選挙が本年の春に行われるので、第14期の選挙管理委員会は次回で決定する。
4. 学術交流委員会の提案になる朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮) の科学技術の現状に関する講演会の開催を承認する。
5. 当学会の春季講演会を3月25日 (金) に開催することを承認する。

以上